

合計特殊出生率について

合計特殊出生率とは、出生率計算の際の分母の人口数を、出生可能年齢（15歳から49歳）の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯何人の子供を産むのかを推計する率となっております。香美市人口ビジョン（平成27年9月策定）では、香美市の平成20年から平成24年の期間における合計特殊出生率は、1.38（平均）となっております。そして、下表の率の推移によると平成25年から平成29年における合計特殊出生率は、1.38(平均)となっております。

香美市合計特殊出生率の推移（平成20年～平成29年）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
合計特殊出生率	1.5	1.33	1.34	1.43	1.25	1.39	1.4	1.46	1.25	1.41

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略関連資料より

香北地域の合計特殊出生率については、算出した資料がありませんが、参考として出生数は下表のとおりとなっております。

出生数

単位:人

年度 地区別内訳	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
山田地区	127	130	119	136	116	122	132	129	128	141	105	119
香北地区	21	29	21	19	17	18	14	24	15	12	27	11
物部地区	13	10	9	11	8	5	2	5	3	1	2	0
総数	161	169	149	166	141	145	148	158	146	154	134	130

各年度中の出生数 香美市健康介護支援課より